

長野県南信州

阿智村

地域おこし協力隊



新規隊員募集中

- ◇「日本一の花桃の里」保全
- ◇伝統の継承と新たな生業
- ◇文化・スポーツの振興
- ◇「農村記録写真の村」の発展

阿智村の紹介

阿智村こんなところ



昼神温泉



2023年に出湯50年を迎えた昼神温泉郷は南信地域最大の温泉で、美人の湯として好評を博しています。

保育園・学校



保育園6園、小学校5校があります。小規模ならではの教育が魅力です。中学校、県立高校が1校ずつあります。

花桃



4月から5月にかけて、約5,000本の花桃が咲き誇り、「日本一の桃源郷」とも呼ばれています。

生活



村内にスーパー2店、診療所2カ所。車で約20分の飯田市には、量販店、総合病院があり、生活に必要な機能が揃います。

つながり



56の集落があり、集落ごとにお祭りや草刈り作業などがあります。様々な係や役員があり、地域活動に参加することが必要です。

阿智村の地区





彼岸花と園原の里

智里西地区の紹介 (人口 約280人)

智里西地区は標高700~1,000mのエリアで、岐阜県との境に位置し、中央自動車道園原インターのある阿智村の西の玄関口です。

当地区には日本一の花桃の里や星空ツアーを行うスキー場などがあり観光地としても注目される地域です。また、古代東山道の難所である神坂峠の麓に位置し、日本書紀や万葉集などにも集落の名前などが登場する歴史ロマンあふれる地です。

令野の課題

智里西地区は人口規模は小さいながら、住民による活動は活発で、花桃の里の整備をはじめとする観光地づくりや森林資源の活用などに地域の人たちが積極的に関わってきました。人口は村内で最も安定している地区ですが、活動の担い手は高齢化し不足している状況です。

協力隊のテーマ

「日本一の花桃の里」を管理・保護していく活動に、地域住民や集落支援員と一緒に取り組んでいただける方を募集します。

また、特産物の栽培や加工販売、地域の新しい産業づくりに積極的に取り組んでいただける方を募集します。

- ・ 「日本一の花桃の里」花桃管理作業
- ・ 本谷蜂屋柿などの特産物の栽培、加工販売、情報発信
- ・ 雑木の活用、キノコ栽培等の新しい産業づくり



本谷蜂谷柿

勤務地 智里西林業活動拠点施設 (自治会館)

智里西ってこんなところ!



信州で最も有名な古木とも言われる園原の「帚木 (ははきぎ)」は、智里西地区にあります。かつて多くの都人が歌に詠みました。

中央自動車道の園原インターチェンジは、地域住民の熱い運動によって実現しました!





手作り花火

清内路地区の紹介（人口 約500人）

清内路地区は標高700～1,000mのエリアで、伊那谷と木曽谷を結ぶ位置にあり、豊富な清水や山々に囲まれた自然豊かな地区です。

秋のお祭りの奉納煙火は、300年余り続く伝統行事で、資格を持った住民が火薬から製造する全国でも唯一の花火です。また、「信州伝統野菜認定制度」に認定された清内路かぼちゃや赤根大根といった伝統野菜が地区内に5種類残るなど、独自の伝統や文化が数多く残る地区です。

分野の課題

「一人ひとりできることから始めよう やらまい かえまい清内路」をスローガンに、自主的・積極的に地域づくりに取り組んでいる地域です。しかし、少子高齢化の影響もあり、地域資源の活用や保全が難しくなっています。

協力隊のテーマ

既存の住民グループの活動に参加、支援しながら、地域の資源や課題について考え、その中から新たな生業を生み出す活動に、地域住民や集落支援員と一緒に取り組んでいただける方を募集します。

- ・ 住民グループによる地域づくり活動への協力
伝統野菜保存会、家庭料理を味わう会、清内路空き家の会 など
- ・ 地域の資源などを生かした産業の掘り起こし
- ・ ホームページやSNSによる地域の情報発信



清内路きゅうりと清内路にんにく



住民による文化イベントの開催
建物は清内路振興室（旧中学校）

勤務地 清内路振興室（阿智村役場支所）

清内路ってこんなところ！

地区外の方にも人気！
豆腐が有名な商店が1店舗、
パン屋さんが2店舗あります！
おいしさの秘密は、水と空気！

火薬から住民手作りの
花火は、清内路でしか
経験できません！
お祭りでは火の粉を浴び
てきおいます！



山採花木の活用（ペニマンサク）





阿智村出身の元オリンピック選手
を迎えてのウォーキング講習会

分野の課題

総合型地域文化・スポーツクラブ「NPOチャレンジゆうAchi」は、文化活動やスポーツを通じて、住民の健康増進と豊かな暮らしの創造を図ることを目的に、2004年に発足しました。

だれもが気軽にスポーツや文化活動を楽しむことができるイベントや教室、講座を開催し、村内外に約400人の会員がいます。

各種講座等の指導や運営は住民が中心となって担う、地域密着型の文化・スポーツクラブです。

法人の運営についても住民が中心となっていますが、日常的な運営や新たな企画の担い手が不足しています。



子どもデイキャンプの実施



文化団体の作品展示（公民館・阿智祭）

協力隊のテーマ

チャレンジゆうAchiの法人運営や企画運営に取り組む協力隊を募集します。また、シニアクラブの運営にも関わっていただき、生きがいある人生を送るための活動支援を柱に、活動の情報発信や会員の募集強化に取り組んでいただきます。

- 総合型地域文化・スポーツクラブ「NPOチャレンジゆうAchi」の運営支援
- 同法人および公民館等が実施する住民の健康づくりやスポーツ振興に関する事業の支援
- 阿智村シニアクラブの活動支援
- 活動に関する情報発信、会員募集の強化



チャレンジフェスティバル

勤務地 阿智村中央公民館内 事務局

※スポーツインストラクターやトレーナー、教員免許、社会教育主事などの資格がある方を歓迎します。





お弁当はコッパン

分野の課題

阿智村は1996(H8)年に「農村記録写真の村」宣言をし、阿智村出身の写真家・熊谷元一の保存活用、熊谷元一写真賞コンクール等に取り組んでいます。熊谷元一の写真は、昼神温泉郷にある「熊谷元一写真童画館」で常設展示しています。村では2024年から熊谷元一写真のさらなる活用、写真を活かした地域づくりを進めるため「熊谷元一写真保存活用委員会」を設置しています。

現在、元一館の管理を担うメンバーの高齢化や、情報発信や継続的な取り組みを行うための人員不足が課題となっています。

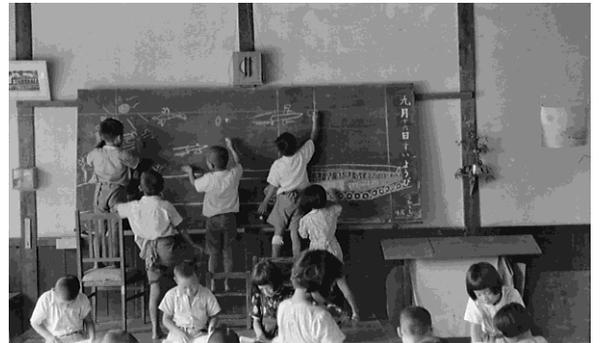


初売りで賑わう村の商店街(駒場)

協力隊のテーマ

保存活用委員会と連携し各種事業や情報発信に取り組んでいただきます。また写真賞コンクールの運営など、熊谷元一写真童画館の業務にも一部関わっていただきます。

- 熊谷元一写真保存活用委員会との連携
- 農村記録写真に関わる情報発信
- 農村記録写真に関わるイベント等の企画運営
- ユネスコ「世界の記憶」登録申請に向けた業務



黒板絵を描く

勤務地 役場協働活動推進課・熊谷元一写真童画館

写真を通じた地域づくり

昨年から、熊谷元一写真にはもっといろいろな可能性があるのではないかと考え、保全活用の方法を考えてきました。また元一写真だけでなく、写真を通じた取り組みのアイデアをみんなで出合ってきました。

写真を撮ったり見たりすることが、自分たちの生活をより豊かにする、また観光資源にもなる。そんな取り組みを一緒に担う方を募集します！



熊谷 元一 (1909~2010)

旧会地村(現 阿智村)出身の写真家・童画家。1934年から約70年にわたり、会地村を中心にこの地域を撮影しました。

小学校の教員であったことから、何気ない村の日常や子どもたちの様子を数多く記録しており、貴重な農村記録写真として全国的に高く評価されています。

熊谷元一
写真童画館HP





拠点施設 古民家つぼや



こまんばマルシェの開催

分野の課題

全村博物館構想は村全体を屋根のない博物館と考え、そこにある歴史や自然、文化、生活を住んでいる人自身が学び、保全活用する取り組みです。調査研究、古民家保全、マルシェなど、幅広い取り組みがあります。特徴は住民の皆さんがやりたいことを実現するところにあります。

2022年、(一社)阿智村全村博物館協会あちLaboを設立し、地域の案内ツアーなど持続可能な観光にも着手しています。今後は古民家改装などにも取り組む予定です。

協力隊のテーマ

地域の人と連携しながら、新たな取り組みを進める方を募集します。

- ・ 全村博拠点施設 古民家つぼや運営業務
- ・ 地域ガイド、地域資源を活かしたイベント企画
- ・ 集落の地域資源調査
- ・ 展示づくり、学習支援、高校連携 などなど



五平餅づくり体験

勤務地 役場協働活動推進課・つぼや

学芸員から地域ガイドまで

阿智村全村博物館協会を中心に活動していただきます。古文書調査から地域案内ガイド、古民家改修や地域の魅力を活かしたイベント企画など様々な活動があります。協力隊になる方のスキルや関心をふまえ、相談しながら取り組む業務を決定していきます。



地域ガイドツアー



全村博HP
<https://achilabo.com/>



阿智村産業振興公社

分野の課題

現在村内には米、野菜、果樹、幅広い品目の農家があります。主要農産物はトマト、キュウリ、ナスなどの果菜類で、秋から冬にかけては市田柿の生産に取り組む農家も複数います。

阿智村において農業は基盤産業と位置付けられていますが、高齢化が進み、その結果として耕作放棄地が増加しています。また、基幹産業である観光業での需要や県外市場での需要への対応も必要となっており、次世代の農業の担い手が不足している状況です。

協力隊のテーマ

3年後の阿智村での就農を目標に、阿智村産業振興公社を拠点として就農研修をしていただきます。

研修を通して、地域の農家や住民とつながりながら、次世代の農業の担い手となっていただける方を募集します。

- 阿智村産業振興公社・JA等にて農業経営、農薬等の学習
- 研修品目：キュウリ・市田柿・トマト・果樹等
- 研修終了後は農地のあっせんがあります。



トマトの栽培



特産の市田柿

勤務地 阿智村産業振興公社

阿智村産業振興公社とは

村民の農業に対する強い危機感から、2010年5月、村の農業振興を主たる目的に設立されました。

社員は村民でもある農産物の生産者約500人。家庭菜園で野菜を作る高齢者から大規模農園経営者やIターンで都会からやってきた若者まで幅広くいます。



@ACHI.KUSYA

先輩隊員インタビュー

阿智村では2011年度から地域おこし協力隊員を採用しています。
これまでに20名の隊員が卒業し、6割の隊員が定住し、地域のなかで活躍しています。

好きでやってるだけじゃない。ここで暮らしているからやっている。



本柳 寛人さん

出身：神奈川県
任期：2011年～2014年
清内路地区を担当

Q阿智村の協力隊になった経過は？

留学に行った時、日本について様々な質問をされましたが、全然答えられませんでした。それを知るなら田舎だと思いました。

そんな時、インターネットで地域おこし協力隊を知りました。

お金も出るし、田舎にも行けるしピッタリな見つけたと思いました。

募集要項に環境問題のキーワードでもある“持続可能”が入っていて、村として持続可能を明言しているのは良いなあと思いました。

Q任期が終了してからはどんな活動をしていますか？

3年終わったらどうしようと思っていたら林業に誘ってくれる人がいました。地域のやりたいことと両立できる条件だったので、愛知県の森林組合の下請けのアルバイトをし、技術と体力と精神力を得ました。

2021年に、「NPOあち森」を設立し、代表となりました。目的は、手の入っていない山に手を入れて「次の世代につないでいくこと」「自分の地域でエネルギーをつくること」です。活動拠点を阿智村に移し、森林に関わるおじさんたちと一緒に仕事をしています。



NPO法人 あち森HP

みんなが好んでできないことを実現していくのが協力隊の役目。

Q阿智村の協力隊になった経過は？

埼玉県で教員をしていたころボランティア活動をしようと考えていたところ、「浪合育遊会」を見つけました。浪合育遊会のキャンプボランティアを3年程やり、スタッフとも仲良くなり、こういう田舎もいいなと思いだした頃、センター長から軽いノリで「住めばいいじゃん！」と声をかけられ、阿智村に来るきっかけとなりました。

「今しかできないことがたくさんある」という気持ちから協力隊に応募することを決断しました。

Q任期が終了してからはどんな活動をしていますか？

任期中に結婚し、夫が就農することになりました。「農業なら、阿智村でなくても良いよね」と両親に言われ、地元に戻ることも検討していました。そんな時に、お世話になっていた浪合の住民団体に相談したところ、色々な人へアポを取り素早く対応してくれました。「阿智村には自分の為に一生懸命になってくれる人がたくさんいるんだ」と嬉しく思い、阿智村に暮らすことを決めました。

隊員として活動している頃から、「人が集まる拠点が無いな」と思っていたこともあり、起業補助金を使って家を改築「農園民泊はらっぱ」を運営しています。



田村 沙織さん

出身：富山県
任期：2015年～2018年
浪合地区を担当



農園・民泊 はらっぱHP

地域おこし協力隊 先輩隊員インタビュー
記事の全文はこちらから



Sari



浪合地区
地域の課題に取り組む

Moe



6次産業
農産物の加工品開発

Satoshi



林業分野
森林活用・ジビエ

Tadayoshi



就農研修
トマト等の栽培

阿智村では2011年度から地域おこし協力隊員を採用し、これまでに20名の隊員が卒業しました。現在は4名の隊員が活動中です。

日々の活動は各分野に合わせて、担当の部署でそれぞれに行っていただきます。

取りまとめ課の協働活動推進課では、必要に応じて随時、協力隊の皆さんの活動をフォローアップします。また、職員と協力隊の皆さんで月1回ミーティングを行い情報交換を実施しています。

募集対象

- 年齢満20歳以上、50歳以下（応募時点）
*募集分野により異なる場合があります。
- 応募時点で三大都市圏をはじめとする都市地域等に在住の方で、採用後阿智村の活動地区に生活拠点を移し、住民票を異動できる方（家族での移住可）
- 普通自動車運転免許を取得しており、日常的に自動車の運転ができる方

期間

- 任命の日から当該年度末まで（最長で3年間）

選考方法

- 応募締切：随時募集中
- 第一次選考：書類選考
- 第二次選考：面接等（受付後日程調整）

給与待遇

パートタイム会計年度任用職員（以下、「第1号隊員」）または、フルタイム会計年度任用職員（以下、「第2号隊員」）として村長が任命します。

任命の形態は勤務内容と本人の希望により打ち合わせのうえ決定します。年度ごとの切り替えも可能です。

- 給与（月額）は2025年1月の見込み額
第1号隊員 月額164,300円
（週30時間勤務、副業可）
第2号隊員 月額212,100円
（週38時間45分勤務）
共通 賞与・勤勉手当 年2回
- 家賃補助 最大月額35,000円
- 居住先は応相談。
- 勤務時間中は公用車を貸与します。
- 資格取得・起業支援補助あり

アクセス

東京方面

高速バス 新宿～飯田線 伊賀良バス停下車 車で約20分
自動車 中央自動車道 飯田山本IC 約5分

中京方面

高速バス 名古屋～飯田線 駒場バス停下車 徒歩約10分
自動車 中央自動車道 飯田山本ICまたは園原IC



※ぜひ一度お越しください。担当の者が村内をご案内します。お気軽にご相談ください！

問合せ 阿智村役場 協働活動推進課 協働活動係

〒395-0303 長野県下伊那郡阿智村駒場483
TEL0265-43-2220 FAX0265-43-2351 kyodo@vill.achi.lg.jp

応募に際しては阿智村HPにて「阿智村地域おこし協力隊募集要項」を必ずご確認ください。

